

第2回

今こそ、生理の “あたりまえ”を 考えよう

2022 2/5 (土)

14:00 ~ 16:00

希望者に生理用品
(相談窓口案内チラシ付)の
配付あり!

参加無料

会場定員20名

*一部録画配信あり(要申込み)
*無料保育あり(4ヶ月~未就学児)

近年話題になった「生理の貧困」。
様々な理由で生理用品を手に入れづらい、
生理の悩みを相談しにくい、快適に過ごすための情報が少ない…
「生理」をめぐる「足りないもの」は実はたくさんあります。
私たちの社会の生理に対する「あたりまえ」について
みんなで考えてみませんか。

考えるためのみんなの居場所 つながるスペース

会場

京都市男女共同参画センター ウィングス京都
セミナー室A・B

対象

テーマに関心のある方 (若年層向けの内容になります)

内容

① 専門家トーク (40分)

月経の“話じづらさ”から考える、私たちの社会

【講師】宮原優 (立命館大学)

生理が「隠すべきもの」とされることが、実は様々な“負担”を生んでいる?! 日常の「経験の記述」から女性やマイノリティが生きやすい社会を考える「フェミニスト現象学」の視点でレクチャーします。

② 大学生による活動報告 (20分)

- 「男性」だけで生理について考えてみた
【登壇】大月隆生 (立命館大学大学院生 / Re:SEX)
- “生理の貧困”に取り組んで見えてきたこと
【登壇】特定非営利活動法人お客様がいらっしやいました。

③ グループトーク (50分) *会場参加のみ

提案! 生理の新しい“あたりまえ”

生理と私たちの社会の“もっとこうなって欲しい!”を参加者同士で話し合います。出たアイデアはまとめて、ウィングス京都の館内に掲示します!

①②は後日オンラインでの録画配信を行います(申込者限定)。インターネット接続環境が必要となります。通信費・回線費などは、視聴者のご負担となります。

専門家プロフィール

宮原優 (Yuh miyahara)

立命館大学客員研究員。専門はフェミニスト現象学、現象学、哲学。著書『フェミニスト現象学入門』(共編 ナカニシヤ出版 2020年)、『西洋古典学へのアプローチ』(共著 晃洋書房 2020年)など。

お申込み

- ホームページで <https://www.wings-kyoto.jp/event/event-all/space2202.html>
- お電話で 075-212-8013 (会場参加のみ)
*録画配信のお申込みはホームページにて受け付けています。

申込み
先着順



【個人情報の取り扱いについて】

お申込者の住所・氏名・連絡先などの個人情報は申込みいただいた講座・催しに関する事務連絡および各種事業のご案内などに使用し、他の目的には一切使用いたしません。

お問合せ

公益財団法人 京都市男女共同参画推進協会 事業企画課
〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下角の御射山町262
京都市男女共同参画センター ウィングス京都内
TEL 075-212-8013 FAX 075-212-7460 jigyo@wings-kyoto.jp
[開館時間] 月~土 9:00~21:00(水曜休) / 日・祝 9:00~17:00
<https://www.wings-kyoto.jp/>

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、掲載している内容は変更になる場合があります。

〈今後の〉つながるスペース 参加無料

第3回 ひとり親(女性)対象 聞いてみたい。
どんな支援があるの?(予定)

【場所】京都市男女共同参画センター ウィングス京都
*詳細は、決定次第ウィングス京都のホームページに掲載します

